

令和5年3月10日 佐藤

～ 平和への願いを一羽一羽の折り鶴に込めて。今年も区役所を彩ります。～

『28万人の平和メッセージ』を開催

本日より、墨田区役所1階アトリウム（墨田区吾妻橋1-23-20）にて、平和への願いを込めたイベント『28万人の平和メッセージ』がスタートしています。

『28万人の平和メッセージ』は、区民や各界の著名人から寄せられた「平和への思い」が綴られたメッセージなどを展示する『平和メッセージ展』と、会場の壁面いっぱい制作された巨大な『平和のオブジェ』の展示を行う事業です。平成4年から区が行っているもので、今年で32回目となります。

会場内の『平和のオブジェ』は、区民や区役所を訪れた方などのご協力で作られたおおよそ10万羽の折り鶴を使用し、区役所1階アトリウムの壁面（高さ約13.5m×幅約7.5m）に「平和への願い」を表現したもので、今年のテーマは「関東大震災から100年～語り継ごう 平和の想いを次世代へ～」。オブジェのモチーフには区内にある都立横網町公園の慰霊堂や、平和の象徴である鳩や折り鶴などが用いられています。オブジェはおおよそ1年間展示します。

また、『平和メッセージ展』には全部で873通（区内小学生686通・14校、一般141通、著名人46通）のメッセージを展示しています。「もう二度と起こしてはいけない、そしてあってはならない、人々を苦しめる戦争というものは 人々に平和あれ!」といった区内の小学生からのメッセージをはじめ、吉永小百合さん、黒柳徹子さん、山田洋次さん、海老名香葉子さんといった各界を代表する著名人からのメッセージなど、それぞれの平和への願いが一枚の葉書に込められ、展示されています。

今年は、現在、区内で生活しているウクライナ避難民の方からの平和メッセージを展示するとともに、区民がウクライナの方へ応援メッセージを送る特設コーナーも設けています。

さらに、本日正午からは平和祈念プログラムとして、新日本フィルハーモニー交響楽団による『平和祈念コンサート』を墨田区役所1階アトリウムで開催。来場された区民の方は「オブジェを作る作業にも携わらせていただき、完成した作品を1年間見ることができると嬉しいです。コンサートも素晴らしく、聞きながら平和について改めて考えました。」と話しました。

区の担当者は事業について「今年が関東大震災から100年の節目の年です。この平和メッセージ事業が、皆さまが平和へ想いを馳せるきっかけとなってくれたら嬉しいです。」と話しました。

《概要》「28万人の平和メッセージ」

震災・戦災という二度の大きな災害を経験した墨田区では、平成元年に「墨田区平和福祉都市づくり宣言」を行い、「世界の平和と人々の福祉向上の実現に一層努力すること」を誓った。

「28万人の平和メッセージ」は、この宣言に基づき、未来にわたって国内外に平和が実現するようにとの願いを込め、毎年、東京大空襲があった3月に開催しているイベント。イベント名の「28万人」は区の人からとっている。令和5年1月に区の人口が28万に達したため、事業名を「28万人の平和メッセージ」に変更した。

平和のオブジェ

【期間】3月10日（金）からおおよそ1年間

【会場】墨田区役所1階アトリウム



